

令和6年度 第2回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

次 第

日 時：令和6年7月25日（木）

午前10時～11時20分

場 所：上越市福祉交流プラザ2階
第1会議室

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 事

(1) 令和7年度社会教育の方針作成について（5分） 資料No.1

(2) 社会教育委員による事業評価について（10分） 資料No.2

(3) 第64回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会について（5分） 資料No.3

(4) その他

・金谷地区公民館新築工事について（5分）

・今後の会議等の日程について（5分）

資料No.4

・上社連総会・研修会・情報交換会について（報告）（15分）

・県社会教育委員等研修会について（報告）（15分）

・生涯学習現地研修会について（情報共有）（20分）

4 閉 会

※会議終了後、金谷地区公民館新築工事現場の見学を行います。（午前11時30分～12時）

【現状と課題】

- （多様な学習機会の提供）**
- 市民の価値観の多様化、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足が著しい。また、多様化する人権問題・同和問題など、地域における現代課題に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
 - 個人の学びの要望に応えるとともに、生涯を通して学び、活躍できる担い手となるよう、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等、社会の要請に基づく学習機会の提供のほか、参加者の固定化及び事業のマンネリ化に対応した取組が必要である。
 - 課題解決のアイデアや気づきとなるような講座を、地域の団体と連携して実施する必要がある。
 - 【新規】部活動の地域移行の取組が本格化し、令和8年度からの実施に向けた取組を進めていく必要がある。
- （地域ぐるみの教育の推進）**
- 地域社会の連帯意識の希薄化等により、地域の教育力が低下し、家庭教育を支える仕組みや環境が大きく変化している。
 - 22の地域青少年育成会議では、各地域の状況に応じた活動を行っているが、学校との関係や事業のあり方に課題が生じている地域もあることから、支援が必要である。また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の高齢化・担い手不足が生じている。
 - 高等学校での不登校や社会人となる段階での不適應など、若者が自立していく中で、つまずき、ひきこもりになる状況が見られる。未来ある若者が社会的に孤立しないよう、義務教育終了後も途切れることなく、自立に向けて支援する活動を推進する必要がある。
- （施設管理・整備）**
- 【新規】デジタル化の進展に伴い、より一層行政サービスの高度化が求められていることから、所管施設の ICT 環境を整備する必要がある。
 - 公民館は、住民の学びやまちづくり活動を支える拠点となる施設である。また、職員が常駐する地区公民館は、子どもたちの居場所にもなっている。引き続き、住民が学びやすい環境を作っていく必要がある。
 - 公民館など所管する多くの施設は老朽化が進み、多額の経費負担が生じていることから、適切な維持管理や利用実態に合わせた管理の見直しを検討する必要がある。

【目指す姿】

「学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ」

【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

【取組方向①】

多様な学習活動の推進
多様な学習機会の充実

- 多様な学習ニーズに対応するため、地域の資源や人材、NPO等の民間団体の取組と連携し、主体的な学びのきっかけとなる学習機会の提供や学ぶ環境の充実を図る。
- 参加者同士が学び合い、互いに高め合えるよう支援するとともに、市民に学びの輪が広まり学習の成果が幅広くいかされるよう、学びが循環する地域づくりを推進する。
- 【新規】文化部活動の地域移行の取組を通じて、子どもと地域の文化・生涯学習団体が共に活動する環境づくりを推進する。
- 一人一人が大切にされる社会となるよう、人権教育、同和教育を推進する。

【取組方向②】

家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成

- 学校・家庭・地域が一体となって子どもの健全育成を推進し、郷土愛の醸成を図る。
- 地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、持続可能な青少年教育活動体制を整えるため、公民館等と連携する仕組みづくりを進める。
- 地域学校協働活動推進員の取組を周知するなど、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図るとともに担い手の確保に努める。
- 義務教育終了後に困難を抱える若者の自立に向けた支援を進め、若者の居場所（Fit）を中核とする若者及び保護者への支援を充実させる。

【取組方向③】

施設管理・整備

- 【新規】住民の身近な学びの場、子どもの居場所としての環境を維持するとともに、ICT環境の整備を進める。
- 施設の実態や利用状況を踏まえ、維持管理や計画的な整備を進め、学ぶ環境の充実を図る。
- 公の施設の適正配置計画に基づいた取組を進める。

【令和6年度の重点事業】

多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実

【事業内容】

- 人権教育、同和教育の推進
 - ・人権意識を高めるための学習機会の充実を図る。
- 郷土を愛する心の育成
 - ・ふるさと上越の豊富な地域資源や人材を活用した謙信 KIDS プロジェクトの実施
- 未来を拓く人づくり
 - ・【新規】地域の多様な文化団体と連携した地域クラブフェアの開催など、文化部活動の地域移行の取組推進と生涯学習活動の活性化
- 地域・現代課題に対応する取組の推進
 - ・各地区公民館において、地域の課題解決の気づきとなるような講座を地域と連携して実施。
- どのような社会状況下であっても、市民の主体的な学びの意欲・関心が高まるよう、公民館での多様な取組を通じた、人づくり、地域づくりの推進。

<第7次総合計画・第3次総合教育プラン>

3-1-1 人権・多様性の尊重、5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1-2 多様な学習活動の推進

プラン3 多様な学びの推進 プラン6 人権・多様性の尊重

家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成

【事業内容】

- 家庭・地域の教育力向上
 - ・家庭教育支援講座、親子活動講座等の実施
- 青少年の育成支援活動の推進
 - ・地域青少年育成会議の訪問を通じた各地域の状況把握と課題に応じた支援
 - ・地域青少年育成会議と公民館との事業連携の推進
 - ・市ホームページ等の SNS や広報紙等を通じた地域青少年育成会議や地域学校協働活動推進員の活動周知
- 若者育成支援の取組の充実
 - ・若者の居場所（Fit）の周知と活用の促進
 - ・親の会の開催による保護者支援の充実
 - ・関係機関・団体と連携した支援の推進

<第7次総合計画・第3次総合教育プラン>

5-2-2-1 全ての子どもの学びの保障

5-3-1-1 多様な学習機会の充実

5-3-1-2 多様な学習活動の推進

プラン3 多様な学びの推進

施設管理・整備

【事業内容】

- 施設の適正管理と適正配置の取組推進
 - ・【新規】社会教育活動の質の向上や、施設の利便性の向上のため、所管施設のインターネット環境を整備する。
 - ・利用者が安全に安心して利用できる適切な施設の維持管理運営を実施する。
 - ・金谷地区公民館の移転整備を遅滞なく実施する。
 - ・公の施設の適正配置計画により整理が必要な施設について、将来を見据えた協議の実施。
 - ・上越科学館のより良い企画・展示が実施できるよう管理運営をする。

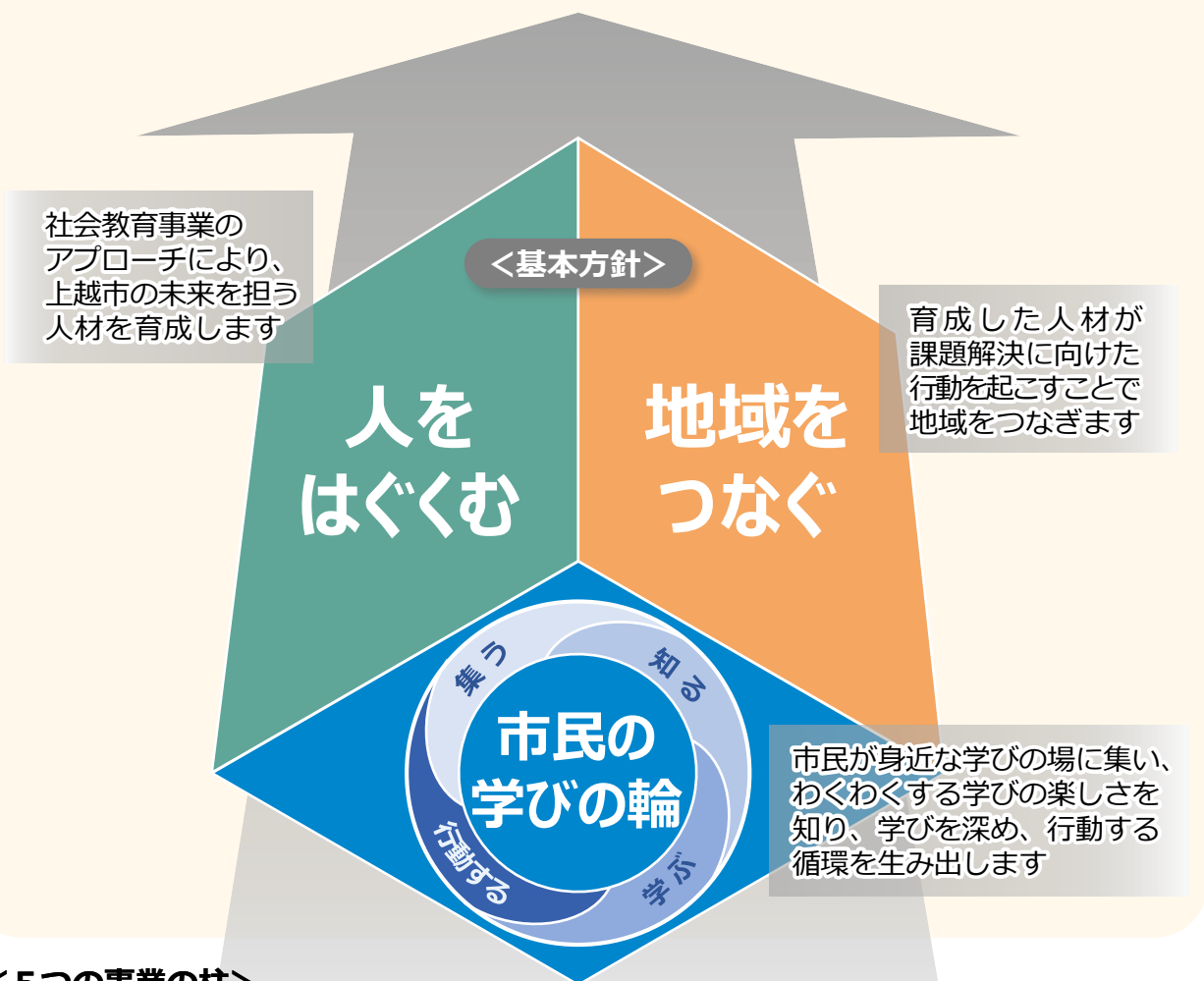
<第7次総合計画・第3次総合教育プラン>

5-3-1-1 多様な学習機会の充実 5-3-1 多様な学びの推進

プラン3 多様な学びの推進

<目指す姿>

学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ



- 1 学びのきっかけづくり
- 2 未来をひらく人づくり
- 3 人をはぐくむ 家庭環境づくり
- 4 踏まえた地域づくり 地域や社会の課題を
- 5 行動する人への支援

<令和6年度 事業分類>

青少年(0~18歳)期 6歳 12歳	成人期	高齢期
<p>1 学びのきっかけづくり (4事業) 誰もが生涯にわたって学ぶことができる機会を提供し、主体的な学びへの意欲を高め、交流の輪を広げる</p> <p>生涯学習情報の提供</p> <p>趣味・教養講座 体育・レクリエーション講座 出前講座</p>		
<p>2 未来をひらく人づくり (6事業) 地域での学びや地域との関わりを通じて、主体的に学ぶことの楽しさや喜びを知り、子どもたちのチャレンジ精神とふるさとへの愛着を育てる</p> <p>青少年教育活動事業 夏休み☆子どもつどいのひろば こうみんかんキッズフェスタ 謙信KIDSプロジェクト</p> <p>部活動の地域移行 (生涯学習の推進) 学び愛フェスタ (生涯学習の推進)</p>		
<p>3 人をはぐくむ家庭環境づくり (5事業) 家庭、学校、地域が連携し、ともに学び、子どものすこやかな育ちを支える</p> <p>家庭教育支援講座、親子活動講座 地域学校協働活動推進員の活動 (育成会議支援) 上越市小中学校PTA連絡協議会支援 子ども交流活動支援 二十歳を祝うつどい</p>		
<p>4 地域や社会の課題を踏まえた地域づくり (6事業) 地域課題や現代課題を学び、課題解決に向けた意識を高めることにより、豊かな地域社会づくりにつなげる</p> <p>小・中学生学習会 社会同和教育・人権教育 若者の居場所「Fit」の運営を通じた義務教育終了後の支援と支援ネットワークの構築 街頭指導、特別街頭指導の実施 地域・現代課題講座 ふるさと未来づくり事業</p>		
<p>5 行動する人への支援 (5事業※再掲1) 芸術・文化に親しむ場の提供や、意欲を持って行動する人・団体を支援することにより、持続可能な活動と未来への学びの輪をつなげる</p> <p>(再掲)ふるさと未来づくり事業 分館事業、ボランティア活動、団体・サークルや地域活動への支援、生涯学習フェスティバル 市展、県展の開催 市民芸能祭の開催 後援、共催による事業支援</p>		

令和6年度 社会教育委員による事業訪問について

1 実施目的

社会教育課で実施する社会教育事業について、社会教育委員・公民館運営審議会委員から参加してもらい、事業に対する意見や提案を寄せていただく。寄せられた意見等を今後の事業計画や運営に反映させるなどして、より充実した社会教育事業の展開を図る。

2 対象事業

- ・各種公民館事業、社会教育事業（市展、生涯学習フェスティバル、謙信 KIDS プロジェクトなど）対象事業を限定しない。

3 事業訪問の流れ

- ① 【社会教育課】各種公民館事業、社会教育事業の日程等を定期的に郵送する配布物と合わせてお知らせするほか、市ホームページ等で情報収集いただけるよう準備を進める。
- ② 【委員】各自興味のある分野の公民館事業や社会教育事業の日程を確認し、事業実施日の1週間前までに、訪問事業を社会教育係へ連絡する。（メール、電話、Fax）
- ③ 【委員】事業訪問を実施。（社会教育委員の名札着用）
- ④ 【委員】裏面「令和6年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」により、意見・提案を事業訪問参加後1ヶ月以内を目安に市へメール・Fax・郵送・持参のいずれかの方法で報告する。
- ⑤ 【市】いただいた意見・提案を今後の事業計画や運営に反映できるよう検討する。

4 その他

- ・参加を強制としない。
- ・裏面「令和6年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」の提出を受けて、自宅から事業開催会場までの距離に応じた交通費（22円/km）を口座振込で支給します。
- ・市民として申込・参加した場合も、意見・提案等ありましたら、任意の様式で報告をお願いします。（交通費の支給なし）

令和6年度 社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート

事業名		講座名	
開催日		委員名	

No.	項目	評価 (※)	意見・提案
1	目的に対して、活動内容は適切であるか	
2	講座全体の雰囲気	
3	参加者の様子、取り組む姿勢 (受講中の表情など)	
4	全体を通しての感想及び意見 (自由記述欄)		
		

※ 評価 (◎: とてもよい ○: おおむねよい △: 改善する点がある ×: 改善すべき)

- お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。(メール、FAX、郵送、持参のいずれかの方法をお願いします。)
- コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

【提出先】
 〒942-8563
 上越市下門前1770 教育プラザ内
 上越市教育委員会社会教育課 社会教育係
 電話：545-9245、FAX：545-9272
 メール: shakaikyoubu@city.joetsu.lg.jp

令和6年度 社会教育委員による事業評価

資料No.2-2

事業名	ねらい	開催日時	開催場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価 ※評価(◎:とてもよい ○:おおむねよい △:改善する点がある ×:改善すべき)						今後の対応など	
						目的に対して、活動内容は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取り組み姿勢			全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント		コメント
1 野鳥かんさつ教室【清里地区公民館事業】	地域の豊かな自然に生息する野鳥について学ぶことで地域の良さを再発見する。また、幅広い年代の方と触れ合い交流を深める。	R6.4.29(月・祝)	坊ヶ池周辺	・地域の豊かな自然を散策し生息する野鳥について学んだ。実際に野鳥の鳴き声や姿を通してこの時期にどのような種類の野鳥が生息・活動しているか最後のまとめの時間で確認した。 ・野鳥だけでなく植物や昆虫等についても学んだ。	34	○		○		○	鳥だけでなく、植物、小動物、その他の話も聞くことで、興味がますますそられた様である。	・野鳥の観察であれば、9:00~11:15という時間帯が適切であるかどうか疑問である。最近の日中の気温の高さを考えると猶更である。開始時刻は早い方が良い。 ・今回はこども8人、担当者並びに指導者を含めて34人という大人数のグループで活動した。指導者・指導補佐との事前連絡をしっかりと取っておくと良かった。具体的には、受付等開始前の段取り。集団が長くなることも当然予測できたことから、指導説明等できる人の配置等。 ・よく見られる鳥については、簡単な小冊子を作成して配るなどした方がよい。県愛鳥センター等の資料活用可。 ・まとめの時間を京ヶ岳山荘内で行ったのは、良かった。 ・星のふるさと館の指導員から協力を得たことで大いに助かっていた。	・開始時間は、次回に向けて検討する。 ・参加対象者の範囲を昨年度から拡大したことにより、大人数での開催となり受付等の対応に不手際があった。次回以降の運営について事前準備をしっかりとしていく。 ・配布資料については参考にさせていただき検討したい。
2 暮らしに役立つ消防局見学【板倉地区公民館事業】	地域を守る消防施設を実際見て体験することにより、いざという時の対応を学び、今後の生活に役立つ。	R6.7.10(水)	上越地域消防局	施設見学のほか、緊急事態時に落ち着いて行動できるよう、119番のかけ方を体験したり、消火器を実際に手にして放水する消火訓練を行った。濃煙部屋では、姿勢は低く、口にはハンカチ等を学んだ。	14	◎	・日頃 体験できない消防署内を見学でき、署員の活動状況を目にすることができた。 ・消火器の扱い方を体験できた。	◎	・署員の説明を受け、救急への対応や火災での注意事項を確認しながら署内を見学していた。	◎	・普段から活動をしているお仲間らしく、冗談も交わしながら移動もスムーズに出来ていた。質問も幾つかされていた。 ・階段の上り下りも心配なく動いていた。	・地震災害のあったばかりの時期で、皆の関心が高いときにちょうどよい企画だったと思います。 ・日頃は小学生や幼稚園児への体験講座が多いようですが、中学、高校の子供たちにも体験する機会があつたらいいという時に地域で大いに活躍してもらえると期待します。 ・日中は高齢者のみの時間帯があると思いますが、移動時の手助けなど出来る事を考えておけたら良いと思います。	・中学生、高校生向けの企画ができるか検討したい。 ・高齢者の移動の問題を含む災害時の対応や対策について、地域で学び、考える機会となるような講座を検討していきたい。
3 大人の社会科見学①【諏訪地区公民館事業】	小千谷市とzoomで交流を行い、青芋や防災について見聞を広げ、地元の良さを見直す。また、実際に小千谷市を訪れることによって学んだ知識を深める。	R6.7.16(水)	諏訪地区公民館	zoomにて小千谷市公民館久保田館長より青芋と防災知識について事前学習を行った。	10	○		○		○	・ZOOMでの交流について、この方法での交流は今後も様々な講座で活用できると思う。しかし今回は、初めての試みということから、相手の久保田館長も含めて、準備不足が否めない。特に、参加者に高齢者が多いことから、久保田館長の声が聞き取りにくく、せっかくの質問も、聞こえないがゆえに答えられない参加者が多かった。もし、よく聞き取れる状態であつたら、参加者の意欲はさらに高まったのではないかとと思われる。 ・青芋についてまた防災についてのそれぞれの話題では、久保田館長の話の後に、少しでも、参加者同士で話し合う時間があれば、さらに参加者の理解が深まったと考える。 ・事前学習の設定はとても良い。実際に現地へ視察学習に行く前に、学習することはとても重要である。	・zoomを用いた交流について、音声聞き取りにくいなど準備不足であった点は、マイクを借りるなどして改善していく。 ・zoomを用いた交流は今後様々な講座での活用が見込まれるため、今回明らかとなった問題点について改善を図れるよう、他地区公民館とも情報共有を行う。 ・他の公民館講座にも言えることであるが、講義後の参加者同士の交流や意見交換の時間は、参加者の満足度を高め学びを深める効果も期待されることから、積極的に取り入れていきたい。	
4 春の地域クラブフェア	地域における子どもたちのスポーツ・文化活動の環境整備の取組の一環として、子どもたちと地域で活動するスポーツや文化芸術団体との出会いの場を提供する。	R6.5.11(土)	リージョンプラザ上越	参加団体による活動紹介ブースの出演と活動体験、PR 特設ステージでの演技披露、スタンパリーによる抽選会、キッチンカーの出店など	1,560	◎	・定番のスポーツ系はもちろん、文化団体のブースも多く、大変魅力的な内容だった。 ・我が子にどんな習い事ができそうか、選択の機会を与えられる素晴らしいフェアだった。	◎	それぞれの良さが随所にあり、奥の発表会場でも様々な団体の発表があり、終始子どもや親子の笑顔溢れる場になっていた。	◎	・まずは、このフェアに向けて各団体への勧誘など、関係者のご努力に敬意を表したい。 ・どのブースも参観者を楽しませる様々な工夫や体験の機会が設けられていて、大変良かった。	・どんなフェアなのか、事前知識があまりない中で参加したためか、その充実ぶりに大変驚かされた。 ・ダンスや、バレエ、野球、柔道、剣道、空手などのブースは想像していたが、なぎなたやカポエラ、スポーツチャンバラや雅楽、将棋にボードゲーム、ヨガにプログラミング等、スポーツ26団体、文化22団体が参加する大イベントの充実した会になっていて、非常に多くの刺激をもらった。 ・開場には、大変多くの親子が来場しており、どこも終始笑顔が溢れていて、本当に良い出会いの場になっていると感じた。この出会いを、今後、どうマッチングして実際に習う状態に持って行くかは、また大変だとは思いますが、上越にこんな学びの場があるという知らしめる場になっている点に本フェアの大きな存在の意味を感じた。 ・偶然に、会場でかつての教え子との出会いもあり、その意味でも参加して良かったと思えた会だった。	・今回で4回目の開催となるが、参加団体から開催時間の長さや各団体のブース配置に関する要望があつたことから、次回に向けて検討する。 ・部活動の地域移行により、保護者の負担を相談できる場がほしいとの声があつたため、地域クラブ活動推進室が中心となり、保護者からの相談体制を整える。

令和6年度 社会教育委員による事業評価

資料No.2-2

事業名	ねらい	開催日時	開催場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価 ※評価(◎:とてもよい ○:おおむねよい △:改善する点がある ×:改善すべき)						今後の対応など	
						目的に対して、活動内容は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取り組み姿勢			全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント		コメント
5 上越市民芸能祭 (民謡・民舞のつどい)	芸能学習の成果を 発表する機会を創出 し、市民の活動意欲 の高揚を図るととも に、市民が芸術や文 化に触れる機会を提 供し、文化活動へ参 加する機運を醸成す る。	R6.6.9(日)	リージョンブ ラザ上越	市内の民謡団 体、上越市「指定文 化財」に登録されて いる「八社五社」や、 上越市「地域の宝」 に認定されている 「頸城松坂」「井ノ口 三丈古代詞」など、 日頃の練習成果を 披露した。	500	◎	活動成果発表の場 になっていた。	◎	発表者が観客でもあり、 熱心に観覧されていた。	◎	参加者は慣れている様 子で発表が終わると次 の方のために素早く舞台 を空けていた。移動が早か った。	・普段の練習の成果を発表する大事な場であると感じました。 ・全てを観覧したわけではありませんが、参加者の皆様は慣れた様子で発表、移動されていてスムーズに運営されていました。 ・当日はアリーナの利用、プールの利用もあり駐車場がほとんど埋まっていた。空いている場所を見付けるのが大変でした。芸能祭に参加される方は比較的年齢が上の方のように見受けましたが、近くに車を留めることができたのか心配になりました。でもきつとお元気な方ばかりですね。	引き続き各部門の「つどい」開催を通じて、芸能学習の成果発表の機会創出と市民の活動意欲の高揚と文化活動へ参加する機運の醸成を図る。
6 上越市民芸能祭 (合唱のつどい)	芸能学習の成果を 発表する機会を創出 し、市民の活動意欲 の高揚を図るととも に、市民が芸術や文 化に触れる機会を提 供し、文化活動へ参 加する機運を醸成す る。	R6.7.14(日)	上越文化会 館	第37回久比岐野合 唱フェスティバルと合 同で開催し、市内高 校合唱部や平均年 齢が80歳を超える合 唱団など、市内外で 活動する多様な合唱 団体が、日頃の練習 の成果を披露した。	670	○		○	来られるお客様は、毎年 皆さん楽しみに来られる	◎	出演の皆さんは、年に一 度のお祭りとして、非常に 意気込みを持って参加し ている。	・上越地区全体のイベントと共催のため、市外からの参加も多く、27団体の参加を得ての開催となった。 ・参加団体の皆さんは、非常に意気込みを持って準備し、参加されていることを強く感じる。 ・その事から、このイベントが地域文化の維持、発展には欠かせないもので有ると強く感じている。 ・ただ、一方で、市内の小中学校での合唱クラブが、消滅してしまったり、既存の団体が高齢化で活動を休止したりと、環境は決して楽観視できるものではない。 ・また、出演者が延べ500人、複数団体を兼ねている人もいるため、実質は約400人。なのに、客席には、一般来場者を含めても、300人程度しか居ない。自分の出番だけしか頭がないのか、折角多くの団体の演奏を聴くことが出来る機会なのに、何とも勿体ない。	・引き続き各部門の「つどい」開催を通じて、芸能学習の成果発表の機会創出と市民の活動意欲の高揚、文化活動へ参加する機運の醸成を図る。 ・上越市民芸能祭では、構成員の高齢化等による参加団体数の減少が見られることから、上越市民芸能祭協議会と連携して、引き続き参加団体の増加に取り組むほか、周知方法の見直しを図り、開催を広く伝えるとともに、一般来場者数の増加に努める。
7 オーレンわくわく体 験教室 【高田城址公園 オーレンブラザ】	高田城址公園オーレ ンブラザにあって、通 常は見たり体験したり することのない施設 の裏側や設備を見 学・体験する機会を 提供し、広く市民に 施設の存在をアピール すると共にオーレ ンブラザへの理解を 深めてもらう。	R6.7.13(土)	高田城址公 園オーレン ブラザ	ホールの舞台転 換、客席転換、バック ヤードツアーなど、 普段は接する機会が ない場所やシステム を見学、体験しても らった。	16	○		◎	親子共々、普段見ること がない施設の裏側の動き を見て、驚きと興味を抱い ていた。	◎	先回と異なり、親子同伴 参加として事で、ある程度 目的意識を持っての参加 者がほとんどとなり、それ ぞれのプログラムに興味 を持って貰えた。	・昨年に続き、今回は2回目。昨年の反省を踏まえ、参加要件やプログラムに工夫を加えた。 ・今回は、参加要件を親子同伴という要件にしたこともあり、参加した子供達は、何かしらの興味を持っての参加となり、プログラムへの参加姿勢はなかなか良かった。 ・また、館内案内の際には、案内説明に対し、子供達より親御さんの興味を引いた事項もあり、イベントとしては、先ず成功と言って良いと思う。 ・プログラムを半日としたことで、時間が足りず、予定を消化できなかったり、準備作業の不足などの課題も見えたが、職員の負担増という部分は有るものの、工夫をすることで解消できるので、また次回に期待したい。 ・今後の展開としては、もう少し高い年齢層向けの体験教室があっても良いかなと思う。	高田城址公園オーレンブラザ企画運営委員会において、来年度以降の継続実施に向けて課題等を整理する。

第46回 全国公民館研究集会
第64回 関東甲信越静公民館研究大会新潟大会
第74回 新潟県公民館大会

開催要項

公民館のチカラ

～未来につなぐ、未来をつくる公民館～

令和6年11月7日(木)・8日(金)

開催地 新潟県上越市

会場 【第1日目】 全体会：上越文化会館
情報交換会：デュオ・セレッソ
【第2日目】 分科会：直江津学びの交流館、上越市春日謙信交流館、
上越文化会館、リージョンプラザ上越、
高田城址公園オーレンプラザ

【主催】 公益社団法人全国公民館連合会、関東甲信越静公民館連絡協議会、新潟県公民館連合会、
上越市教育委員会、糸魚川市教育委員会、妙高市教育委員会

【主管】 第64回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会実行委員会

1 趣 旨

公民館は、戦後まもなく国民の新しい価値観である学習や生活改善のニーズに合致した社会教育施設として全国に広がり、「集う・学ぶ・結ぶ」といった開かれた場、発信する場として、人づくり、地域づくりに貢献してきました。

それから70年以上が経過した現在、公民館に関わる地域社会にも少子高齢化、生成AIが台頭する情報化、グローバル化する環境問題や人権問題など、社会構造を根底から変える多様な課題が顕在化しています。また、度重なる自然災害の発生、さらに世界に目を向ければ戦争や紛争も多発しており、平和と民主主義を希求する公民館の精神が揺らいでいます。

このような状況の中、これら社会の課題に対応し、地域の足元から未来につなぐ、未来をつくる公民館を創造していくことが、公民館に関わる私たちにとって必要なことではないでしょうか。これからの公民館のあり方や果たすべき役割について考え、これまで蓄積してきた「公民館のチカラ」を再認識しながら、新たな「公民館のチカラ」を創り出す一歩となる大会にしていきましょう。

2 大会テーマ

「公民館のチカラ ～未来につなぐ、未来をつくる公民館～」

3 開催期日

令和6年11月7日(木)～8日(金)

4 会 場

■ 第1日目

全 体 会：上越文化会館
情報交換会：デュオ・セレッソ

上越市新光町1-9-10
上越市西城町3-5-20

■ 第2日目

分 科 会：直江津学びの交流館
上越市春日謙信交流館
上越文化会館
リージョンプラザ上越
高田城址公園オーレンプラザ

上越市中央1-3-18
上越市春日山町3-1-60
上越市新光町1-9-10
上越市下門前446-2
上越市本城町8-1

5 主 催

公益社団法人全国公民館連合会、関東甲信越静公民館連絡協議会、新潟県公民館連合会
上越市教育委員会、糸魚川市教育委員会、妙高市教育委員会

【主管】第64回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会実行委員会

【後援】文部科学省、新潟県、新潟県教育委員会、新潟県市長会、新潟県町村会、新潟県市議会（予定）
会議長会、新潟県町村議会議長会、新潟県市町村教育委員会連合会、新潟県社会教育委員連絡協議会、新潟県生涯学習協会、新潟県スポーツ推進委員協議会、新潟県青少年健全育成県民会議、新潟県婦人連盟、新潟県小学校長会、新潟県中学校長会、新潟県高等学校長協会、新潟県小中学校PTA連合会、新潟県高等学校PTA連合会、上越市、糸魚川市、妙高市、新潟日報社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21（順不同）

6 参 加 者

公民館関係者、公民館運営審議会委員、教育委員、社会教育委員、教育委員会事務局職員、生涯学習・社会教育関係者、市町村理事者及び関係職員、公民館利用者
その他本研究大会への参加希望者

7 日 程

■ 第1日：全体会 11月7日(木)

10:30	11:00	11:30	12:00	13:00	14:10	16:10	16:30	18:00	18:30	20:30
受付	新潟県 公民館 大会		受付	アトラクション、 開会行事、表彰式	基調講演 トークセッション	閉会 行事		受付	情報 交換会	

基調講演

「公民館のチカラ ～未来につなぐ、未来をつくる公民館～」

講師：千葉大学名誉教授 長澤 成次 氏

【プロフィール】

1951年東京都北区生まれ。千葉大学教育学部・名古屋大学大学院教育学研究科博士課程を経て、千葉大学教育学部教授、千葉大学理事、社会教育推進全国協議会委員長、「月刊社会教育」編集長、日本社会教育学会会長、放送大学千葉学習センター所長などを歴任。現在、東京都国立市・東京都小平市・千葉県成田市公民館運営審議会委員、市川市社会教育委員、うらやす市民大学学長など。編著に『公民館で学ぶ』シリーズⅠ～Ⅵ（国土社刊、1998年～2023年）、著書に『公民館はだれのもの』Ⅰ・Ⅱ（自治体研究社刊、2016年・2019年）などがある。

～講師からのメッセージ～

講演では、1946年7月5日の文部次官通牒によって設置が呼びかけられた公民館の原点にふれながら、未来につなぐ・未来をつくる公民館のチカラを参加者のみなさんと共に考え学びあいたいと思っています。



トークセッション

「私からつくる私たちの未来の公民館」

長澤 成次 氏 × 角野 仁美 氏 × 司山 園美 氏

NPO法人みらいず works

角野 仁美 氏

【プロフィール】

1994年岐阜県生まれ。新潟大学教育学部社会教育専攻卒業。認定キャリア教育コーディネーター。大学時代より、子ども若者と地域社会をつなぎ、学びをつくる教育ファシリテーターとして多様な学校現場に関わる。

現在は新潟を拠点に探究的な学習のデザインやコミュニティスクールを核とした協働による学び、地域づくりの推進に取り組む。



新潟市地域教育コーディネーター

司山 園美 氏

【プロフィール】

新潟県上越市生まれ。コンセプトユニット LOVE-ISM の中心として、司会・パーソナリティーを始め、イベント企画・運営など県内外で活動中。青年育成を目的にした舞台制作を行う、創作表現集団 D-Soul の代表も務める。

近年は、大学で学んできた地域教育、生涯学習の分野を活かし、学・社・民連携のための事業にも取り組む。新潟市中央公民館運営審議会委員、新潟市社会教育委員。



アトラクション

ごぜ 「高田瞽女唄演奏」 出演：小竹勇生山社中

旧高田（現上越市）を中心に、頸城一円で生まれ、長きに渡り育まれた高田瞽女唄。そして高田瞽女唄が源流となり派生した津軽三味線。人々の生活とともに脈々と受け継がれてきたその二つの伝統文化を継承する小竹勇生山社中。演奏会や各種教室、学校公演やイベントアトラクション等を通して貴重且つ重要な伝統芸能を後世に伝承している。



昼食 お弁当

上越ばかうまい弁当

※第1日目限定でのご提供

1,000円

上越産食材をふんだんに盛り込んだ、郷土色豊かなお弁当を提供します。現在、上越の郷土料理研究家とタッグを組み「お弁当プロジェクト」（上越市公民館事業）を立ち上げ、メニューを鋭意考案中です。お楽しみに。

情報 交換会

- ・越後上越 上杉おもてなし武将隊による演舞
- ・地酒によるおもてなし
- ・新米バイキング

会費 6,500円

越後上越の夜をお楽しみいただけるおもてなしをご用意してお待ちしております。他地域の方々との交流ができる機会ですので、ぜひご参加ください。



■ 第2日：分科会 11月8日(金)

9:00 9:30

12:00 12:10

14:00

15:00

受付	分科会(発表、討議、まとめ)	閉会	【特別企画】希望者のみ フィルムフォーラム 映画「公民館」(1950年)
----	----------------	----	--

8 分科会

公民館が持っているチカラ、公民館がこれから創っていくチカラ、今できること、そしてこれからの公民館について考えます。

	分科会名	発表都県	発表テーマ	会場
1	ICTと公民館 ICTを活用した公民館をテーマに、新たなアイデアや活動について考えます。	群馬県 高崎市久留馬公民館	①いつでも②よつとでも③ながる公民館 ①②③で新しい集いと学びにチャレンジ	直江津学びの交流館
		新潟県 村上市中央公民館	ICTで進化する公民館	
2	人口減少社会における公民館 人口減少社会の状況だからこそ、公民館でできることは何かを考えます。	長野県 御代田町公民館	公民館を憩いの場へ! - エコマルという新たな試み -	上越市春日謙信交流館
		新潟県 弥彦村公民館	社会教育委員との連携を通じた社会教育事業の推進	
3	学校と公民館 学校と公民館との現状を踏まえ、これからの関わり方や活動について考えます。	栃木県 宇都宮市清原生涯学習センター	わがまち 清原を知り、LRTとともに魅力を発信しよう	上越文化会館
		埼玉県 和光市中央公民館	地域学校協働本部との連携・協働を進める公民館	
4	これからの公民館 コミセン化、人権教育や多様化への取り組みなど公民館の様々な課題や在り方を考えます。	神奈川県 相模原市立星が丘公民館	地域住民のもつエンパワーメントをいかに公民館の役割	リージョンプラザ上越
		東京都 国分寺市立並木公民館	「まち・ひと・わたし」を結ぶ人権学習の取り組みから	
5	ひとづくり・地域づくりと公民館 公民館に集う人と人、人と地域の関係性の中で、若者などのチカラを生かした地域づくりについて考えます。	山梨県 甲州市塩山西公民館	高齢化社会における公民館の役割を情報発信	高田城址公園オーレンプラザ
		千葉県 袖ヶ浦市根形公民館	地域づくりの拠点としての公民館 ～”ねこまる”で集まった若者のチカラ～	

助言者

- 第1分科会 石野 正彦 氏 (文部科学省学校DX戦略アドバイザー)
- 第2分科会 若月 隆雄 氏 (新潟県立生涯学習推進センター次長)
- 第3分科会 辻村 貴洋 氏 (上越教育大学准教授)
- 第4分科会 雲尾 周 氏 (新潟大学教職大学院教授)
- 第5分科会 長澤 成次 氏 (千葉大学名誉教授)

9 特別企画

フィルムフォーラム 映画「公民館」(1950年)

と き：11月8日(金)
14:00～15:00

と ころ：高田城址公園
オーレンプラザ ホール

解 説：長澤 成次 氏
(千葉大学名誉教授)

映画「公民館」は、占領下、視聴覚教育を通じて日本人の啓蒙と民主化を進めるためにCIE教育映画として製作されたものです。この映画に登場する公民館(福島県柳津町公民館、岐阜県菅田町公民館、滋賀県大津市公民館、福岡県水鏡公民館、北海道帯広市公民館、香川県苗羽村公民館)はどれも優良公民館表彰を受けています。この機会にぜひご覧ください。

入場無料/申込不要



令和6年度

上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員に関する会議等日程一覧

○現段階での予定になります。

○社会教育委員の皆様へは、その都度ご案内させていただきます。

期 日	会 議 等 名	会 場 等
【済】 4月26日(金) 10:00～11:30	第1回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	上越市教育プラザ
【済】 5月31日(金) 13:40～16:15	上越地区社会教育委員連絡協議会総会研修会（終了後、情報交換会有）	直江津学びの交流館
【済】 6月26日(水) 13:00～16:15	新潟県社会教育委員連絡協議会社会教育委員等研修会	長岡市中央公民館
7月25日(木) 10:00～12:00	第2回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	上越市福祉交流プラザ
8月21日(水) 15:00～16:20	社会同和教育市町村巡回研修会	新井ふれあいホール
10月9日(水) 12:30～17:30	県社会教育研究大会柏崎・刈羽大会（終了後、情報交換会有）	柏崎市市民プラザ
11月7日(木)～ 11月8日(金)	第64回 関東甲信越静公民館研究大会新潟大会	上越文化会館ほか
11月26日(火)	生涯学習現地研修会	上越市
2月中旬予定	第3回社会教育委員・公民館運営審議会委員会議	上越市教育プラザ

<関連事業等>

- ・10月23日(水)～25日(金) 全国社会教育研究大会、関東甲信越静社会教育研究大会
開催場所：茨城県水戸市（交通費・宿泊費の支給あり(2人)）